TECUM Mini WorkShop2025

いまさら聞けない「数列」

ー「数列」という単元の核心にせまるー

概要

高校数学で扱われる「数列」の単元は，従来，多くの教科書で 等差数列→ 等比数列→ 階差数列→ Σ 記号→ 漸化式→ 数学的帰納法 という順で展開されています．しかし，数学的な本質の観点から見ると，この順序は実は全く逆であり，「漸化式」や「数学的帰納法」にこそ数列の核心があります．

このワークショップでは，長岡亮介先生によるTECUM のオリジナルテキストをもとに，数列という 単元が本来めざしている数学的構造とその学びの道筋を改めて捉え直します。従来の「公式の暗記と計算」にとどまらず，数列の背景にある論理・構成・証明の流れを丁寧にたどることで，教える側自身の理解をアップデートし，授業デザインの可能性を広げることを目的としています．

こんな方におすすめ

- 数列の単元を「なんとなく」教えてきたが，理論的な根っこを整理したい教員
- 漸化式や数学的帰納法の扱いに苦手意識がある方
- 教科書に沿うだけでなく，より数学的な授業展開を考えたい方
- 数列を，微積分・解析・関数といった他分野と関連づけて捉えたい方

開催情報

参加費

一般：10,000円

学生；5000円

講師

谷田部篤雄

新妻翔

松並奏史

磯山健太

日程

第1回2025年12月21日(日)
第2回2026年1月4日(日)
第3回2026年1月18日(日)
第4回2026年2月1日(日)
第5回2026年2月15日(日)
第6回2026年3月1日(日)
第7回2026年3月15日(日)
第8回2026年3月29日(日)
時間帯7:00～9:00（講義＋質疑応答）
第一・三・五日曜日（全8回）

カリキュラム（予定）

第1回
自然数の定義と数学的帰納法/数列の定義

第2回
和分（第n部分和）と差分（階差数列）の関係1

第3回
和分（第n部分和）と差分（階差数列）の関係2

第4回
漸化式 1 (等差数列と等比数列)

第5回
漸化式 2 (隣接2項間線型非同次漸化式-特殊解の発見・定数変化法)

第6回
漸化式 3 (定数係数隣接3項間線型同次漸化式/連立漸化式)

第7回
数列の整数への拡張

第8回
総括とQ&A

お申し込みはこちら

https://forms.gle/uWURbeLYCBemt9hA6

※詳細は https://www.tecummath.net/ をご確認ください。
※日程は変更になる場合があります。